

災害用設備を浜松市のお寺に設置させていただきました！

災害用設備 パッケージ販売

LPガス販売のエネジン（浜松市中区）は、ガスを貯槽するバルク（タンク）と炊き出し用ステーションなどをセットにした災害用パッケージの販売を始めた。災害時に避難所やボランティアの拠点として使われる施設への普及を目指す。

パッケージは、三百キを貯槽できるバルクのほか、炊き出し用のコンロなどを備えたステーション、ガス発電機、暖房機で構成。満タンでこれらを最大百十五時間

エネジン 浜松の寺に初導入



利用できる。価格は税抜き百四万六千円で、それぞれ単独で購入するより一割ほど安い。

中区の瑞生寺に初めて導入された。左右田泰丈住職（五巴）は二〇一

「いづれ浜松でも巨大地震が起きるかもしれない。受け入れられる環境を整備しておきたい」と語った。エネジンリテール営業推進課の田島好礼係長は「最低限だが、災害時に必要な設備をそろえた」と話した。

一年の東日本大震災の際、曹洞宗の県第四宗務所のメンバーとして宮城県気仙沼市の被災地を支援。寺が避難所の役割を果たしていることを知り、本堂の屋根を軽くしたり境内に井戸を設けたりした。

さらに安全な寺にするためパッケージを採用した。左右田さんは「いづれ浜松でも巨大地震が起きるかもしれない。受け入れられる環境を整備しておきたい」と語った。エネジンリテール営業推進課の田島好礼係長は「最低限だが、災害時に必要な設備をそろえた」と話した。

（木造康博）

当社ではガスを貯槽する災害用バルク等をセットにした災害用パッケージの販売を開始。先日浜松市の瑞生寺様に設置させていただきました！
パッケージ内容は300Kgバルク、炊き出し用のコンロやガス発電機、暖房機となっております。
今回、瑞生寺様は災害時に地域の人を受け入れられる環境を整備しておきたい、とのことで導入していただいております。
いざという時に、お客様を守る体制を作るお手伝いが出来れば私たちもうれしいです。
今後も地域の皆様のお役立ちできるような取り組みをしていきます。

令和3年(2021年)2月25日(木)

中日新聞掲載